

激動の時代に生まれた傑作

後期展示

令和8年(2026)12月23日(水)～令和9年(2027)1月24日(日)

モンゴル帝国が襲来した鎌倉時代や、戦国大名たちが覇を競った時代、

現代を生きる私たちにもなじみの深い傑作が生まれました。

そして、本年は「昭和」改元から100年にあたります。

戦後の奇跡的な復興の時代を通じて、昭和美術の発展の軌跡をたどります。



国宝 蒙古襲来絵詞 前巻(部分) 鎌倉時代(13世紀) 皇居三の丸尚蔵館収蔵

大帝国の襲来に挑んだ
鎌倉武士団！

狩野常信 唐獅子図屏風(左隻) 江戸時代(17世紀) 皇居三の丸尚蔵館収蔵



ボンボニエール
いりめこがた
入目籠形
大正4年(1915)
皇居三の丸尚蔵館収蔵



ボンボニエール
まるがたかしわ はなももん
丸形柏に花桃文
昭和55年(1980)
皇居三の丸尚蔵館収蔵



ボンボニエール
まるがたかしわ しほり
丸形朱漆塗
平成27年(2015)
皇居三の丸尚蔵館収蔵

天下人の絵師が描く
王者のシンボル

国宝 狩野水徳
唐獅子図屏風(右隻)
安土桃山時代(16世紀)
皇居三の丸尚蔵館収蔵



山崎朝雲
萬歳楽置物
昭和3年(1928)
皇居三の丸尚蔵館収蔵

華麗なる
雅楽の音を響かせる



鳴鳳 湖東焼波に龍模様手爐
江戸時代(19世紀) 皇居三の丸尚蔵館収蔵



真珠付団扇
朝鮮王朝時代(16世紀)
皇居三の丸尚蔵館収蔵

横山大観
りゅうぎょくしほいにおどる
龍蛟躍四溟(右隻)(部分)
昭和11年(1936)
皇居三の丸尚蔵館収蔵

